



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: CELEBRATE ROTARY - 100 YEARS

「ロータリーを祝おう - 100年の歩み」

「ひとが基本です - みな輪になり手をつなごう」

2004～2005年度・国際ロータリーテーマ/グレンEエステス・シニア会長

2004～2005年度・東京新南ロータリークラブテーマ/入沢頼二会長

【本日の例会】2004年7月30日 第850回例会

◎卓話

「経営者の健康管理」

(株)チャックウイルソンエンタープライズ
代表取締役 **チャック ウイルソン氏**
(紹介者 渡部一元会員)

【先週報告】7月23日 第849回例会

◎幹事報告

8月定例理事会8月6日(金)例会後(13:40～15:00 東京全日空ホテル1F かげろう)開催致します。よろしくお申し込み申し上げます。

◎親睦活動委員会報告(石井委員長)

8月火曜会は、8月3日(火) [18:00～20:00 東京全日空ホテル 36F マンハッタン ラウンジ] スピーカーに小杉修造会員、後藤完夫会員をお迎えして、「私の仕事、趣味そして家庭」のテーマで開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

◎慶事披露

誕生日祝/田村 昭二 君(7月27日)
100% 出席祝/武下 朗君(15年)、福島 賢哉君(7年)



◎出席報告

会員58名/出席37名・欠席21名(出席規定免除者7名)
ビジター 1名



7月23日 / 8件 17,000円
2004～2005年 累計 141,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

田村昭二/誕生日プレゼントありがとうございました。やっと二回目です。福島賢哉/7年もの出席お祝い有難うございます。入沢頼二/お暑つうございます。皆様お体を大切に。山下忠治/暑い日が続きます。私はもう半分死んでいます。村山公士/お暑うございます。小原健/酷暑お見舞い申し上げます。でも、夏は暑くないと。尾上寛/尾関さん、ニコニコご苦労様です。尾関武男/本日は、ニコニコご協力ありがとうございました。

第2回クラブ協議会

日 時:2004年7月23日(金) 例会後13:10～14:30
会 場:東京全日空ホテル B1 オーロラ
テーマ:「100周年記念事業について」

出席者:早川、入沢、石井、石坂、岩上、ジョン、勝山、小杉(眞)、小杉(修)、松永、村山、二宮、大日方、尾上、柴本、四分一、椎名、清水、新保、庄司、高須、武下、佃、渡部、吉田(用)、吉岡 (26名、敬称略)

1. 会長挨拶

入沢会長

ロータリー 100周年記念事業について

ロータリー 100周年事業としての「港区絵画展」は、最終の詰めに入った段階で、共催を呼びかけた他クラブとの調整の問題ばかりではなく、諸々の問題も浮上し、すでに皆様ご存知の通り中止となりました。中止は英断だったと思いますが、これはあくまでも「港区絵画展」を中止したのであって、ロータリー 100周年記念事業そのものを中止したわけではありません。実行性に難がりましたが、その意図と志はすばらしかったと思います。「港区絵画展」はその目的を達成するための手段であって目的ではありません。本来の目的を達成するため、テーマを変え実現可能性の道を模索することが大切ではないかと思っております。目的はあくまで100周年を迎え、奉仕を通じて地域社会と共に祝うということであり、なぜ100周年事業にこだわりをもつのか、その理由の第一は、大日方100周年実行委員長のもとに委員の皆さんが、企画の立案から、港区、港区教育委員会、TBSへの後援依頼の取り付け、港区広報誌、KISSおよび港区公立の小、中、高等学校長会への協力要請、また、東京美術倶楽部への特別の要請と後援依頼、ポスターの制作、展示方法、会場の運営、他クラブとの連絡等、諸々の分野で1年半にわたって、流した多くの汗と、奉仕の志を無駄にしたくない。「港区絵画展」は中止してもこの志を引き継ぎたいと思いました。第二は、共催をお願いした他クラブ、特に南、麻布RCには無条件で全面的な支援をいただきましたが、これらのクラブに対する信頼性の問題だとも思います。難しかったからすべて止めたというのは如何かなと思うわけであり、形は変わり、単独事業になっても最初に意図したその志を遂げるということが、大切なのではないかと考えております。さらに委員会活動を活発にしたいという思いの心が、100周年記念事業へのこだわりです。形は変えても、最初に意図した志を遂行したいとの思いから、今日までRIへの100周年事業の中止報告、港区、港区教

育委員会、TBSへの後援依頼、港区広報誌、KISSおよび港区公立の小、中、高等学校長会への協力要請への中止の届け出は提出しておりません。できれば中止ではなくテーマの変更でゆきたいと思っております。

今回、テーマの選定、企画につきましては100周年記念事業実行委員会が決めるトップダウン方式ではなく、実行の柱となる社会奉仕委員会を中心として検討し、そのテーマ、企画を提案し、その実行は100周年記念事業実行委員会がするというボトムアップ方式で行きたいと思っております。

今年度に入って一ヶ月も経っておりませんが、岩上社会奉仕委員長のもとで何度も委員会を開催し検討を重ね、本日のクラブ協議会へ社会奉仕委員会の総意としての提案がなされます。本日のクラブ協議会で皆様の深いご理解をいただき、さらに理事会承認のもとクラブをあげて実行に移してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

2. 計画説明と映画「ABLE」の紹介 岩上社会奉仕委員長

社会奉仕委員会では、100周年記念事業を継続すべきものとして、検討しました。

現時点での案は、最近の青少年の荒廃などに関心を払い、心豊かになる、「命の大切さを知ろう」というテーマで、考えてはどうか。講演、ロータリー広報のためのパンフレット作成、図書や寄贈などの案も提案されたが、小・中・高校生、留学生、障害者等を招いて映画上映の方向で検討しています。

2001年7月13日当クラブで卓話をいただいた細川佳代子さんの主宰するスペシャルオリンピックスに参加する少年たちを描いた映画で、テーマとしてもふさわしいと考えます。小栗謙一監督、2002年4月6日劇場公開されました。上映会場は港区赤坂の区民センターを考えています。

3. 事業計画に対する意見他 大日方100周年実行委員長

100周年記念事業として地域貢献プロジェクトを立ち上げるのか、社会奉仕委員会として奉仕活動をするのか、その点をはっきりさせておく必要があると思います。

前々年度から準備をしてきた100周年記念事業の計画は、前年度に中止になりました。一度中止になったものを改めて立ち上げるのは大変なエネルギーが必要です。ただ、今年度の入沢会長は100周年記念事業を是非やりたいという強い意志を持っておられますし、社会奉仕委員会でも熱心に検討が行われています。100周年実行委員会では、前年度に中止の決定がなされた後も、RIへの100周年プロジェクトの登録は残しておきましたし、港区、港区教育委員会、TBS、Kissポート財団などの後援も維持しています。社会奉仕委員会では、青少年を対象にした映画鑑賞会を提案されましたが、それが100周年記念事業としてふさわしいものである、というのが皆さんの共通の認識でしたら、100周年事業実行委員会では、再び活動を開始したいと思ひます。ただし、その提案が港区の公立学校の先生や生徒を対象にした活動に発展して行くのであれば、港区との関係を大切にしなければなりません。これまで港区との関係を深めてきていただいた四分一さんの理解と協力がなければ、成果を上げることは難しいでしょう。

4. 自由討論と質疑応答

以下に討議の要約を示します。重複する意見等はまとめていますので御了承下さい。

吉岡:映画ありきで話を進めているような印象を受ける。

100周年に相応しいのだろうか。

吉田(用):100周年プロジェクトとしての条件を教えてください。規模についても。

大日方:地域に貢献し、全体を対象に、世間にロータリーを広く知らしめ、理解されるようなものが望ましいと思ひられます。

小杉(修):ロータリーを広報することの役割が大きいと思ひます。

柴本:映画は良いと思ひます。ただし、広報的な意義を考えると細川さんを招待して、講演をしてもらうことが、どうしても必要である。

清水:プロジェクトを終わらせて、立ち上げ直すわけではなく、内容を変えて続けるものと理解している。

武下:100周年の事業としてもそれほど重く考えることはないのでは。

二宮:岩上さんの提案が良いと思ひます。

石坂:RIへの提案はそのままにしてあるのだから、続けてやるのが良いのではないか。クラブの皆さんもやる方向で考えているように見える。あとは肉付けをすることが必要。

石井:試写会に参加したが、映画は大変良いものである。

新保:皆さんの意見はやる方向で一致していると思ひます。

高須:クラブの力量に合わせて行うべき。岩上さん達の努力に報いたい。

武下:観客を動員することは、結構大変なので、工夫が必要である。

四分一:このプロジェクトの広報の持つ意味は大きい。将来のロータリアンに訴えることから青少年に働きかける意味がある。小・中学校への働きかけを一度したのだから最後までやり通すべきである。

大日方:小学生、中学生への声のかけ方が大事である。学校の協力もぜひ必要である。これには四分一さんの力を借りなければならない。

岩上:ホールを借りて上映することも、学校に出向いてやる方法もある。

小杉(修):劇場で映画を見たが大変良い映画であり、また、最後のクレジットにロータリーの名前が沢山出てくるので、格好の広報になる。

小杉(眞):他のクラブなどの取り組みを見てもそれほど大げさなものでもない。

5. まとめ 柴本副会長

皆さんの方向性はほぼ一致していると思ひます。次の理事会で決定し、実行に移してゆくようにしたい。

【次週予告】8月6日 第851回例会

◎卓話予定 インニエーションスピーチ

「時代と人が見える^{おおや}大家業」

当クラブ会員 椎名康允君
有限会社東勢代表取締役

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

[会長] 入沢頼二 [副会長] 柴本芳郎 [幹事] 庄司泰典 [会報委員長] 早川清隆 [今週の担当] 村山公士

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111